

## 第160期 | 株主通信

2025年4月1日～2026年3月31日

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。  
ここに当社グループの第160期の概況についてご報告申し上げます。

また、2026年3月24日付で公表しましたアポロ・ファンドによる支援を通じた  
抜本的施策の概要につきましても、次ページ以降にご紹介しておりますので、ご高覧  
くださいますようお願い申し上げます。

2026年6月

日本板硝子株式会社

取締役 代表執行役社長兼CEO

細沼 宗浩



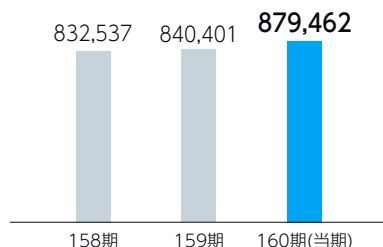
## 業績ハイライト 第160期 (2025年4月1日～2026年3月31日)

- 欧州の景気低迷、世界的なインフレに伴う人件費等のコスト上昇に加え、米国関税政策の影響を受け厳しい事業環境。
- 通期業績予想に対し、売上高は為替影響もあり上回るも、営業利益は下回る。当期利益には一過性の税効果を含む。

## 売上高

879,462 百万円

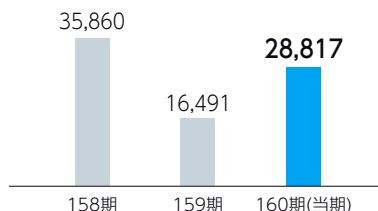
(単位:百万円)



## 営業利益

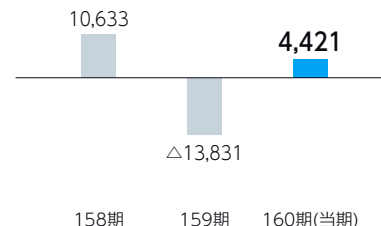
28,817 百万円

(単位:百万円)

親会社の所有者に  
帰属する当期利益  
(△は損失)

4,421 百万円

(単位:百万円)



注1: 当社は国際会計基準(IFRS)に基づいて連結財務諸表を作成しています。

注2: 上記に記載の営業利益は、個別開示項目前営業利益を記載しています。

## ●配当について

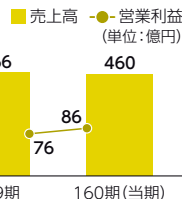
当期の普通株式の期末配当につきましては、当社グループの財務状況等を総合的に勘案し、誠に遺憾ながら、その実施を見送ることといたしました。

高機能  
ガラス

5%



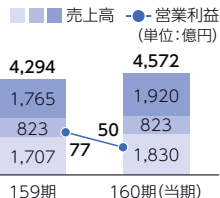
- ・当初計画通り販売構成が改善し、営業利益は増益。
- ・ファインガラスは、下半期に販売構成が改善。
- ・プリンター用レンズは、プリンター・複合機に対する需要減少の影響を受ける。
- ・グラスコードは補修用市場での堅調な需要が継続。

自動車用  
ガラス

52%



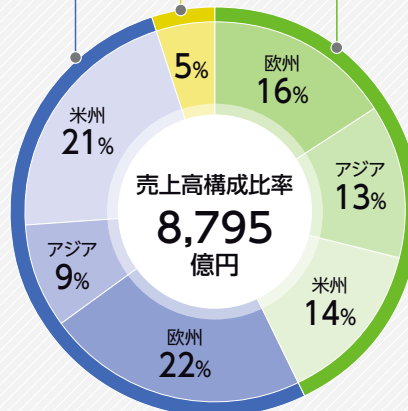
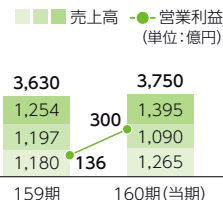
- ・売上高は補修用ガラス事業を中心に販売価格の改善が進展し増収。
- ・営業利益は北米新車用ガラス事業の一時的な生産効率低下の影響を受け減益。
- ・日本では新車用の販売数量が伸び悩む。
- ・欧州での生産体制見直しは計画通り進捗。

建築用  
ガラス

43%



- ・売上高および営業利益は欧州において販売価格が改善したため、増加。
- ・前年度に実施した生産停止に伴うコスト削減効果は引き続き寄与。
- ・太陽電池パネル用ガラスは、アジアで米国関税政策等を踏まえた取引先の生産調整の影響が続くが改善傾向、米国で堅調な需要が継続。



## 戦略製品のご紹介

## 高機能ガラス事業

半導体材料向け低誘電ガラスフレーク  
(HIENCYFLAKE®)

半導体パッケージのさらなる高性能化・小型化の実現に貢献する材料

## 自動車用ガラス事業

先進的ディスプレイの実現  
・HUD用フロントガラス

フロントガラス上で、車両前方10mの仮想面に交通情報等を表示

## 建築用ガラス事業

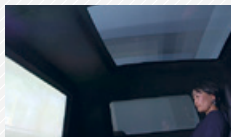
## 太陽電池パネル用ガラス



CO<sub>2</sub>排出量削減に貢献する戦略製品として、生産能力を増強

化粧品材料向け光輝性無機顔料・パウダー製品  
(メタシャイン®・MAR'VINA®)

業界の新規性に対応、環境や人体に優しいボロンフリー・低重金属のガラス等の無機材料

EV用新世代ルーフガラス  
・調光機能付きガラス

透明・不透明を瞬時に切り替え、快適性とエネルギー効率の向上を実現

## コーティングガラス



高付加価値領域の拡大に向け、日本およびポーランドで最新鋭の設備投資が進捗

# 資本の再構成、非公開化を通じた持続的な成長の実現に向けた抜本的施策の概要

この度、当社はグローバルなオルタナティブ資産運用会社であるアポロ・ファンドとのパートナーシップのもと、資本の再構成を通じた持続的な成長の実現に向けた抜本的施策の実施を発表し、本年6月開催の定時株主総会において関連議案を上程させていただくこととなりました。同株主総会におきましてこれらの議案をご承認いただきますと、当社株式は非公開化され上場廃止となる予定でございますが、これは「新生」NSGグループが次の成長ステージへ進むために必要不可欠で最善の決断であると確信しております。

これまでの多大なるご支援、ご鞭撻に深くお礼申し上げますとともに、今回の抜本的施策につきましても何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

## 非公開化の背景

- 収益力の低下 直近5年間で累積約▲284億円の赤字計上
- 過剰なレバレッジ 有利子負債総額は約5,483億円に到達

## 本取引の概要

- 日本板硝子は、アポロ・ファンドによる第三者割当増資(TPA)を通じて、総額1,650億円の出資を受領
  - ✓ 定時株主総会にて本件に必要な株主承認を取得
  - ✓ 尚、JISおよびUDSは、保有する優先株式を普通株式に転換した上で、当該総会における本件関連の議案に賛成
- 株式併合を通じて、既存株主から1株当たり500円(株式併合交付金額)で株式を買取り、非公開化
  - ✓ 株式併合に伴う1株当たりの交付金額500円は、TPA価格に対して50円の上乗せ(11.1%のプレミアム)。本件公表前営業日終値に対して23.5%のプレミアム
- 主要金融機関による総額1,400億円の債務の株式化(擬似DES)の実施
- 国内既存借入金のリファイナンスを実行
- 英国子会社における既存借入金の返済

定時株主総会  
本件議案可決



当局の許認可  
承認を経て……

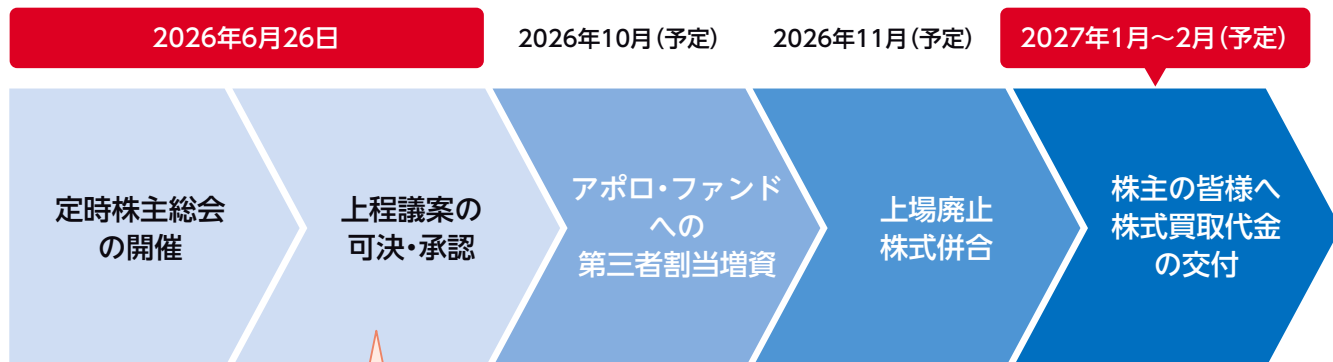
## 本取引実施後

- アポロ・ファンドによる日本板硝子の非公開化を契機とした、新生NSGグループとしての持続的成長に向けた体制整備
- 高水準の借入額の大幅削減
  - ✓ 英国子会社における既存借入金1,890億円\*の返済
  - ✓ 総額1,400億円の擬似DES実施により、1,400億円の既存有利子負債の削減
- 資本構成と金利負担の大幅な改善、戦略投資のための流動性確保により、抜本施策の実行が可能
- 改善した事業キャッシュ・フローおよび健全化した資本構成のもと、環境規制対応や高付加価値化、太陽光発電用といった成長領域への戦略投資を実行し、長期的な成長軌道を確認

\*2025年12月末時点の実績(有利子負債)

## 今後のスケジュール

\*関係当局の許認可取得手続き等により前後することがあります。



- ・ 自助努力のみでは、収益力および財務体質の改善には時間を要し、その実現可能性も不透明
- ・ 不透明な経済・経営環境の下で当社の業績および財務状態が悪化し、株価の下落等を通じて株主の皆様を更なるリスクにさらすおそれ
- ・ 非公開化を含む本取引は、「必要資本の確保」・「金融機関との合意形成」・「中長期的な事業再建の実行」を同時に実現可能とする、最も現実的、且つ株主の皆様に対しても最善であると判断

株主の皆様の株式を**1株当たり500円**で買い取ることを上程予定

\*定時株主総会における本件議案のご承認をもって決定されます。

## 株式買い取りのお手続き

本件議案が可決された後につきましては、原則、特別なお手続きは不要です。

上場廃止後、最終の株主名簿に記載された株主様に対し、裁判所の許可を得たのち、株式買い取りに関するご案内をお送りさせていただきます。

# TOPICS

## TOPIC 1

### 「ペロブスカイト太陽電池」分野で進む製品開発

日本発の次世代太陽光発電技術として注目を集める「ペロブスカイト太陽電池」。この画期的な「創エネルギー技術」においてもガラスは重要な役割を果たします。現在、当社グループでは様々なパートナーと研究開発を行い、グループを挙げて、高機能で市場ニーズに応える製品開発を推進しています。



## TOPIC 2

### 省エネルギーガラス製造設備の能力増強(千葉)

Low-Eガラスは透明金属膜をコーティングした省エネルギーガラスで、新築住宅向け複層ガラスとして年々普及率が高まっているほか、商業ビルやリフォーム市場などでも採用拡大が見込まれています。当社ではこのニーズに応えるため、千葉事業所(千葉県市原市)に最新鋭の製造設備を導入しLow-Eガラス増産体制を整えました。



## TOPIC 3

### サステナブル材料展や世界最大級の化粧品原料展に出展

2025年11月、環境配慮型材料に特化した「第5回 サステナブル マテリアル展」(千葉県・幕張メッセ)が開催され、当社は、リサイクル光輝材「METASHINE ECO®」(世界初展示)などを出展。海外では、今年4月に世界最大級の化粧品原料展示会「in-cosmetics Global 2026」(フランス・パリ)においてマイクロプラスチック代替候補ともなるベースメイク向けパウダー製品や光輝性無機顔料などを出展し、それぞれ好評を博しました。



## TOPIC 4

### ガラスの国際基準策定団体に創設メンバーとして参画(英国)

当社は、英国の非営利団体「レスポンシブルグラス」(ResponsibleGlass)に創設メンバーとして参画しました。同団体はガラス産業を対象に「責任あるガラス」生産の国際基準を初めて策定することを目指しており、当社グループも積極的に協力していく予定です。





## 株主メモ

|                           |                                                    |
|---------------------------|----------------------------------------------------|
| 事業年度                      | 毎年4月1日から翌年3月31日まで                                  |
| 定時株主総会                    | 毎年6月開催                                             |
| 基準日                       | 定時株主総会の議決権 3月31日<br>剰余金の配当9月30日・3月31日              |
| 株主名簿管理人および<br>特別口座の口座管理機関 | 三井住友信託銀行株式会社<br>東京都千代田区丸の内一丁目4番1号                  |
| (郵便物ご送付先)                 | 〒168-0063<br>東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (電話ご照会先)                  | 0120-782-031 (フリーダイヤル)<br>受付時間9:00-17:00 (土日休日を除く) |

### ▶ ご住所変更などのお届出およびご照会について

〈証券会社に口座をお持ちの株主様〉

取引口座のある証券会社にお問い合わせください。

〈証券会社の口座をお持ちでない(特別口座の)株主様〉

上記の(電話ご照会先)までお問い合わせください。

サステナビリティへの取り組みを通じて、  
持続可能な社会の実現に貢献します



## 会社概要 (2026年3月31日現在)

|          |                                                                                             |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商号       | 日本板硝子株式会社                                                                                   |
| 本店       | 〒108-6321<br>東京都港区三田三丁目5番27号<br>(住友不動産東京三田サウスタワー)                                           |
| 設立       | 1918年11月22日                                                                                 |
| 従業員数(連結) | 24,838名                                                                                     |
| 資本金      | 116,913百万円                                                                                  |
| 会計監査人    | EY新日本有限責任監査法人                                                                               |
| 上場証券取引所  | 東京証券取引所 プライム市場<br>(証券コード:5202)                                                              |
| お問い合わせ   | <a href="https://www.nsg.co.jp/ja-jp/contact-us">https://www.nsg.co.jp/ja-jp/contact-us</a> |

### ▶ 単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式(最低取引単位に満たない1~99株の株式)をご所有の場合、当社に対して、

- (1) 買取請求または
- (2) 買増請求(ご所有の単元未満株式と合わせて1単元(100株)に達するまでの株式を買い増すこと)

をすることができます。

お手続きの詳細につきましては、左記 ▶ご住所変更などのお届出  
およびご照会についてに記載の照会先にお問い合わせください。

### 当社ウェブサイト・SNSのご案内

当社ウェブサイトでは、決算情報や最新ニュースなど、  
投資家の皆様への様々な情報を掲載しています。  
ぜひご覧ください。



<https://www.nsg.co.jp/>

Facebook



X(旧Twitter)



Follow  
me!

当社公式  
SNSキャラクター  
Nグマくん



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。

